

- Smelting of Low-Manganese Iron when Using Krivoy Rog Iron ores and Donets Coke. *P.G. Glazkov, et al* p. 14~20
- Quality of Steel, Produced of an Iron, Smelted at Using the Permanent Moisture Content Blast. *A. Popper, et al* p. 24~27
- Melting of Steel for Tube Production from a Low-Manganese Iron by Scrap Process at Different Manganese Regimes. *A.I. Pastukhov, et al* p. 28~34
- Melting of the Ball-bearing Steel in an Acid Open-Hearth Furnace, Fired with Natural Gas and Fuel Oil. *A. A. Kiselev, et al* p. 35~40
- Intensification of the Oxidizing Period at Electric Melting of Structural Steels. *F. P. Edneral, et al* p. 43~48

国内最近刊行誌参考記事目次

—学協会誌—

日本金属学会誌 22 (1958) 2

- 金属の疲労強度におよぼす Shot-peening の影響 (第3報, 第4報) 竹内 栄, 本間恒夫...55~59
- 焼入硬化磁石鋼の磁性について. 三島徳七, 橋口隆吉, 木村康夫...63~66
- 18—8 ステンレス鋼の焼結材について. 梶山正孝, 鈴木寿...67~70
- Al 被覆鋼に関する研究 (第9報) Al 被覆薄鋼板の残留応力について. 嵯峨卓郎, 佐藤金司...70~73
- Mg 処理球状鉛鉄の再熔解による性状変化と残留 Mg の挙動との関係 (第1報) 実験結果 (第2報) 考察. 岡村邦夫...73~80
- 鋼材における超音波減衰と残留応力 (第3報) 特に圧縮および曲げ試験における減衰 (第4報) 特に大型試料およびオーステナイト鋼の冷却応力による減衰. 高沖 亮
- チタニウム—パラジウム 2 元系平衡状態図について. 西村秀雄, 平松剛毅...88~91
- 液体金属とフラックスとの間の界面張力に関する研究 (第1報) 装置の試作と Sn-Pb 合金の表面張力について (第2報) Sn とフラックスとの間の界面張力について. 美馬源次郎, 倉貫好雄...92~99
- 溶接に関する最近の諸問題. 鈴木春義...A—29

鑄物 30 (1958) 3

- 球状黒鉛鑄鉄に関する研究 (第1報). 堀田秀次, 猿渡亨...137~144
- キューボラに関する研究 (第4報). 石野亨...144~152
- 強制冷却による永久炉壁式炉の研究. 佐藤良蔵...152~158
- 鑄型の注湯ならびに後処理. 宇津巖...171~182

材料試験 7 (1958) 2

- 耐酸高けい素鉄について. 田島治...70~74
- 調質圧延板における不均一形について. 桜井忠一, 山田巖, 柿内正昭...93~97
- クロムモリブデン鋼の熱処理に関する研究 (第一報). 沢村宏, 盛利貞, 大久保士郎, 安田忠雄...98~104
- 黒鉛電極に関する研究 (第4報). 岡田辰三, 吉沢四郎, 石川忠夫...111~113
- 軟鋼の脆性破壊伝播開始条件に関する研究. 吉識雅夫, 金沢武

— 7 (1958) 3

- 高分子固体の力学的性質と湿気. 藤田博...126~134
- クロムモリブデン鋼の熱処理に関する研究 (第2報). 沢村宏, 盛利貞, 海田秀美, 森田昌郎...144~150
- 各種高級鑄鉄管の疲労強度について. 小西一郎, 薄田正一, 勝田貞雄, 島田喜十郎...151~155
- ワイヤーロープの静的試験および繰返し引張疲労試験. 小西一郎, 西村昭, 島田喜十郎...160~164

分析化学 7 (1958) 2

- 広濃度範囲に使用できる高周波滴定装置の作製. 中埜邦夫, 只埜宏, 大平義昭...79~84
- 鉄鋼中のジルコニウムの迅速吸光光度定量方法. 若松茂雄...84~88
- 連続電量滴定装置の原理ならびに構造. 高橋武雄, 仁木栄次, 桜井裕...93~98

熔接学会誌 27 (1958) 2

- 欧州造船熔接界の概観. 吉田兎四郎...2~4
- 広巾鋼板における脆性破壊の伝播と停止. 佐藤邦彦, 山口常昭...5~10
- 軟鋼棒の熔融特性. 小沢正義, 大村国雄, 森田敏郎...16~20
- 18—8 ステンレス鋼の熔接におよぼすパウダーカットの影響. 石原克己, 岩佐 実...26~31
- 高張力鋼熔接変質部の冷却状況と顕微鏡組織および硬度 (第2報) 関口春次郎, 稲垣道夫, 佐藤誠...32~38 (第3報) 39~44
- 高張力鋼の強制冷却による材質変化について.

- 守田貞義, 合田 進, 石川正敏, 今村敏淳…45~48  
 アーク熔接法によるレール継目の接合に関する研究  
 (第1報). 伊藤悌二, 米井 滉, 藤本 優…49~53
- 産業機械** (1958) 2, No. 89  
 送風機の事故対象. 押田良輝…3~9  
 一万屯鍛造用水圧プレスについて. 小野内善一…15~20  
 起重機の話 (その十三). 三好健夫…32~38  
 日本工業規格送風機試験方法. 41~54
- (1958) 3, No. 90 (特輯) 原動機  
 ポンプ水車について. 池野一寛…8~14  
 最近の東芝水車. 鈴木宣義…15~19  
 最近の日立水車. 横井信安…20~25  
 38,000KW カプラン水車. 今井直次郎…26~29  
 エツシャーウイス社水車. 柳井深造…30~34  
 最新の新三菱水車. 山本秋久…35~36  
 新鋭火力用蒸気タービン. 円城寺一…37~40  
 最返のタービンの傾向. 加藤正敏…41~48  
 最近の新三菱蒸気タービンについて. 林 徹…49~51  
 ガスタービン駆動消防ポンプ. 小泉恒雄…52~57  
 石川島 FW ボイラ. 吉川潤一郎…58~61
- ラumontボイラについて. 池田 学…62~70  
 バブコック日立産業用ボイラについて. 利部 浩…71~76  
 KSK 蒸気発生機ならびに KSK 水管ボイラ. 肥田裕三…77~80  
 VKW 横山ベンソン型強制貫流汽罐について. 服部智信…81~85  
 最近の「つねきち」ボイラ. 細川 瀨…86~90  
 最近完成された暖房用 YA 型水管式ボイラ. 津坂直貫…91~93  
 最近のボイラについて. 中野三郎…94~96  
 三菱横浜 CE 産業用ボイラと燃焼装置. 瀬尾秀次郎…97~104  
 低品位炭ボイラの燃焼機器について. 橋本多一…105~108  
 微粉炭燃焼装置について. 安岡雅弘…109~113  
 ルーバスターカについて. 長谷部 勉…114~117
- (1958) 4, No. 91  
 液圧成形法と成形機. 吉田清太…2~8  
 表面硬化について. 北島宣光…9~14  
 起重機の話 (その14完). 三好健夫…43~59

(鉄鋼ニュース617頁よりつゞく)

新設し、翌 29 年 8 月には、まず可逆式四段冷間圧延機が稼働、引続き昨年 3 月には調質圧延機 (スキンプラス・ミル) を新設、10 月には同社独特の設計になる画期的な連続亜鉛メッキ設備が操業をはじめ、ここに大阪工場は総工費 34 億円を費して、計画決定以来 6 年ぶりに完成したが、その機械は全部国産のものを使用している。

#### ウジ・ミナス製鉄所建設準備団出発

日本の鉄鋼業の戦後はじめの海外進出として注目されている日伯合弁のウジ・ミナス株式会社は、いよいよ日本側より建設準備団を派遣することとなり、白石芳雄氏 (元八幡製鉄所製鉄部長) を団長とする一行 11 名は 4

月 5 日羽田発の日航機で現地に向つた。この製鉄所の建設地は、ブラジル・ミナス州の首都ベロオリゾンテから飛行機で約 40 分のところにあるイバチンカ地区で、建設規模はつぎのようなものである。第 1 次計画: 高炉 700 t 炉 2 基 (付帯設備を含む), 純酸素転炉 45 t 2 基, 厚板設備, 第 2 次計画: 分塊, ホット・ストリップ, コールド・レバーシング, 連続亜鉛メッキ設備,

第 2 次計画完成後の生産能力は、鉄鉄 50 万 t, 鋼塊 50 万 t, 鋼材 36 万 t で、所要資金として約 6,7 百億円に上るものと見られ、このうちの半分は所要機械として対日発注にあてられるものと見られており、各方面から注目されている。